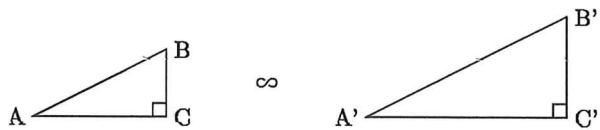


1 三角比

1.1 正弦・余弦・正接



2つの三角形が相似なとき、

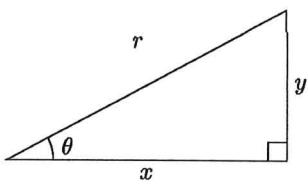
$$\frac{BC}{AB} = \frac{B'C'}{A'B'}, \quad \frac{AC}{AB} = \frac{A'C'}{A'B'}, \quad \frac{BC}{AC} = \frac{B'C'}{A'C'}$$

$\angle C = 90^\circ$ の直角三角形において、辺の比

$$\frac{BC}{AB}, \frac{AC}{AB}, \frac{BC}{AC}$$

の値は、 $\angle A$ の値のみによって決まる。

以上のことから …



上図のように、鋭角の1つを θ 、各辺を x, y, r とする。
先に見た通り、

$$\frac{y}{r}, \frac{x}{r}, \frac{y}{x}$$

の値は θ の大きさのみで決まる。

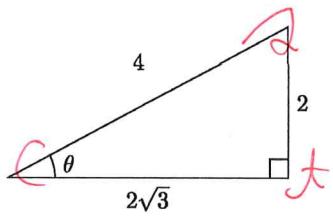
$\frac{y}{r} = \sin \theta$	正弦	
$\frac{x}{r} = \cos \theta$	余弦	
$\frac{y}{x} = \tan \theta$	正接	

*左下に θ 、右下に直角

問題

以下の図形の $\sin \theta, \cos \theta, \tan \theta$ の値を求めよ。

(1)

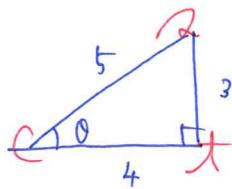
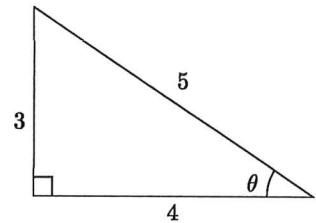


$$\sin \theta = \frac{2}{4} = \frac{1}{2}$$

$$\cos \theta = \frac{2\sqrt{3}}{4} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\tan \theta = \frac{2}{2\sqrt{3}} = \frac{1}{\sqrt{3}}$$

(2)



$$\sin \theta = \frac{3}{5}$$

$$\cos \theta = \frac{4}{5}$$

$$\tan \theta = \frac{3}{4}$$

1.2 三角比の表の利用

三角比の表を使ってみよう。

θ	$\sin \theta$	$\cos \theta$	$\tan \theta$
0°	0.0000	1.0000	0.0000
1°	0.0175	0.9998	0.0175
2°	0.0349	0.9994	0.0349
3°	0.0523	0.9986	0.0524
4°	0.0698	0.9976	0.0699
5°	0.0872	0.9962	0.0875
6°	0.1045	0.9945	0.1051
7°	0.1219	0.9925	0.1228
8°	0.1392	0.9903	0.1405
9°	0.1564	0.9877	0.1584
10°	0.1736	0.9848	0.1763
⋮	⋮	⋮	⋮
45°	0.7071	0.7071	1.0000
46°	0.7193	0.6947	1.0355
47°	0.7314	0.6820	1.0724
48°	0.7431	0.6691	1.1106
49°	0.7547	0.6561	1.1504
⋮	⋮	⋮	⋮

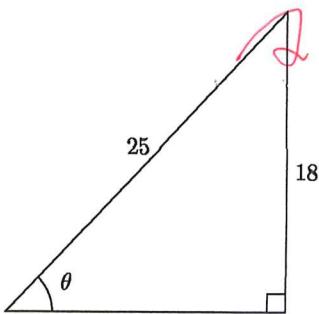
次の値を求めよ。

$$(1) \sin 6^\circ \approx 0.1045$$

$$(2) \cos 8^\circ \approx 0.9903$$

$$(3) \tan 10^\circ \approx 0.1763$$

以下の θ のおおよその値を三角比を用いて求めよ。



$$\therefore \theta = \frac{18}{25} = \frac{18}{25} \times \frac{4}{4} = \frac{72}{100} = 0.72.$$

上の表から, $\sin \theta \approx 0.72$ となるのは, 46° 附近。

$$\therefore \theta \approx 46^\circ$$

問題

三角比の表を用いて以下の値を求めるよ。

$$(1) \sin 25^\circ$$

$$0.4226$$

$$(2) \cos 67^\circ$$

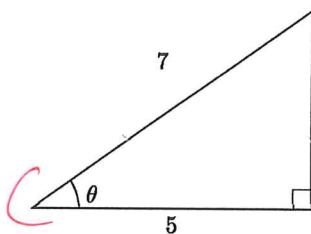
$$0.3907$$

$$(3) \tan 38^\circ$$

$$0.7813$$

以下の θ のおおよその値を三角比を用いて求めよ。

$$(1)$$



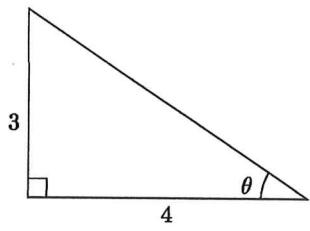
$$\cos \theta = \frac{5}{7}$$

$$\approx 0.714$$

$$\begin{array}{r} 0.714 \\ \times 49 \\ \hline 10 \\ 49 \\ \hline 39 \\ \hline 28 \end{array}$$

$$\therefore \theta \approx 44^\circ$$

$$(2)$$



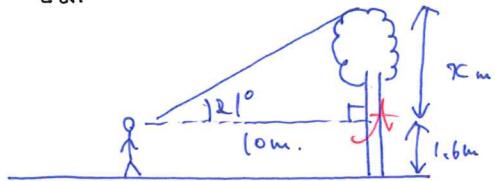
$$\begin{array}{l} \tan \theta = \frac{3}{4} \\ = 0.75. \end{array}$$

$$\therefore \theta \approx 37^\circ$$

1.3 三角比の活用

文章問題を解いてみよう。

- (1) 木の根本から水平に 10 m 離れた地点に立って木の先端を見上げると、水平面とのなす角が 21° であった。目の高さを 1.6 m として、木の高さを求めよ。ただし、小数第 2 位を四捨五入せよ。



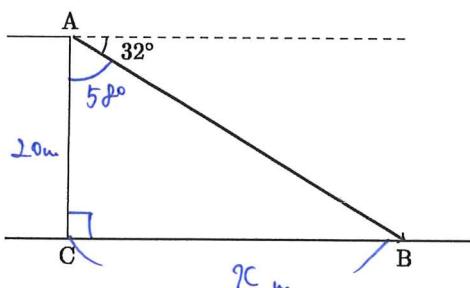
$$\text{上図から, } \tan 21^\circ = \frac{x}{10}$$

$$\begin{aligned} x &= 10 \times \tan 21^\circ \\ &= 10 \times 0.3839 \\ &= 3.839. \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \therefore \text{木の高さ} &= 3.839 + 1.6 \\ &= 5.439 \end{aligned}$$

約 5.4 m

- (2) 地上からの高さ 20 m の地点 A で地上の場所 B を見下ろしたら、その角は下の図のように水平面に対して 32° であった。B は、A の真下の地点 C から何 m 離れているか。1m 未満を四捨五入して求めよ。



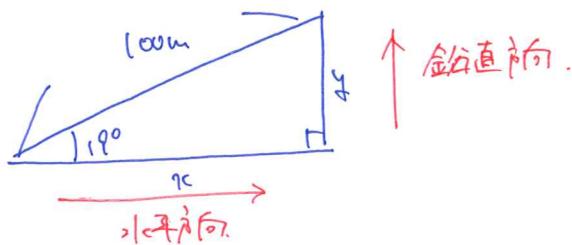
$$\frac{x}{20} = \tan 32^\circ$$

$$\begin{aligned} x &= 20 \times 1.0003 \\ &= 20.006 \end{aligned}$$

約 20 m

- (3) 傾斜角 19° の坂をまっすぐに 100 m 登る。このとき、以下の問い合わせに 1m 未満を四捨五入して答えよ。

- (a) 鉛直方向には何 m 上がることになるか。



$$\frac{y}{100} = \tan 19^\circ$$

$$\begin{aligned} \therefore y &= 100 \times 0.3256 \\ &= 32.56 \end{aligned}$$

- (b) 水平方向には何 m 進ことになるか。

$$\cos 19^\circ = \frac{x}{100}$$

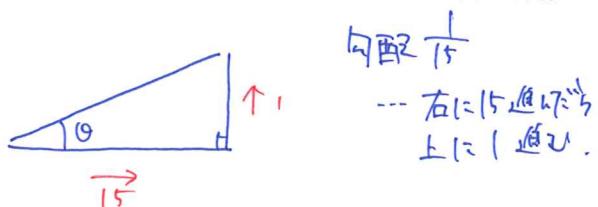
$$x = 100 \times \cos 19^\circ$$

$$\begin{aligned} &= 100 \times 0.9455 \\ &= 94.55 \end{aligned}$$

約 95 m

- (4) 車椅子用に屋外に設置するスロープについて、その勾配は $\frac{1}{15}$ 以下にするという基準がある。

スロープの基準を 1° 単位で設定する場合、この基準を満たすには、傾斜角は幾度以下にしなければならないか。ここで、勾配とは、水平方向に 1 進ときに鉛直方向に上がる高さを表す。



$\tan \theta \approx \frac{1}{15}$ 以下 ($\approx 3^\circ$ 以下)

$$\frac{1}{15} = 0.066\ldots$$

$$\tan \theta \approx 0.066\ldots$$

3° 以下

2 三角比の相互関係

2.1 三角比の相互関係

相互関係

$$(1) \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$$

$$(2) \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$$

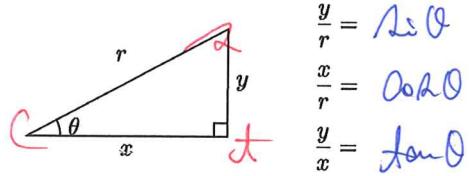
$$(3) 1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

証明しよう。

<proof>

(1)について

三角比の定義から,



$$\begin{aligned} \frac{y}{r} &= \sin \theta \\ \frac{x}{r} &= \cos \theta \\ \frac{y}{x} &= \tan \theta \end{aligned}$$

なので,

$$x = r \cos \theta, y = r \sin \theta \quad \dots (*)$$

$$\therefore \tan \theta = \frac{r \sin \theta}{r \cos \theta} = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad \rightarrow (1)$$

(2)について

上図の三角形において、三平方の定理より、

$$x^2 + y^2 = r^2$$

この式に (*) 代入して

$$(r \cos \theta)^2 + (r \sin \theta)^2 = r^2$$

$$\therefore \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \quad \rightarrow (2)$$

(3)について

(2)の式の辺々を $\cos^2 \theta$ で割ると、

$$\frac{\sin^2 \theta}{\cos^2 \theta} + 1 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

ここで (1) より $\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$ ので、

$$\tan^2 \theta + 1 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$\therefore (\cos \theta)^2 = ?$

$\cos^2 \theta < 1$.

相互関係を用いて、1つの三角比から他の三角比を求めてみよう。

(1) θ は鋭角とする。 $\sin \theta = \frac{2}{3}$ のとき、 $\cos \theta, \tan \theta$ の値を求めよ。

<Ans>

$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \text{ から,}$$

$$\cos^2 \theta = 1 - \sin^2 \theta$$

$$= 1 - \frac{4}{9} = \frac{5}{9}$$

ここで、 $0^\circ < \theta < 90^\circ$ なので、

$$\cos \theta = \frac{\sqrt{5}}{3}$$

また、 $\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$ から、

$$\tan \theta = \frac{\frac{2}{3}}{\frac{\sqrt{5}}{3}} = \frac{2}{\sqrt{5}}$$

(2) θ は鋭角とする。 $\cos \theta = \frac{1}{3}$ のとき、 $\cos \theta, \tan \theta$ の値を求めよ。

$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$$

$$\sin^2 \theta = \frac{8}{9}$$

$$0^\circ < \theta < 90^\circ \quad | \quad \sin \theta > 0$$

$$\therefore \sin \theta = \frac{2\sqrt{2}}{3}$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad |$$

$$\tan \theta = 2\sqrt{2}$$

(3) θ は鋭角とする。 $\tan \theta = 2$ のとき、 $\cos \theta, \tan \theta$ の値を求めよ。

$$1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta} \quad |$$

$$1 + 4 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$$\cos^2 \theta = \frac{1}{5}$$

$$0^\circ < \theta < 90^\circ \quad | \quad \cos \theta > 0$$

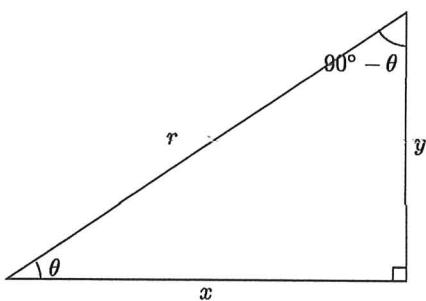
$$\therefore \cos \theta = \frac{1}{\sqrt{5}}$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad |$$

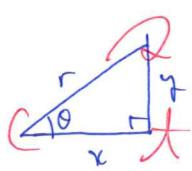
$$\begin{aligned} \sin \theta &= +\sin \theta \cdot \cos \theta \\ &= 2 \cdot \frac{1}{\sqrt{5}} \end{aligned}$$

$$\therefore \sin \theta = \frac{2}{\sqrt{5}}$$

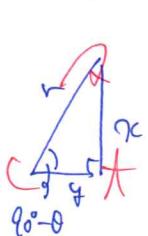
2.2 $90^\circ - \theta$ の三角比



上の図から、



また、



$$\sin \theta = \frac{y}{r}$$

$$\cos \theta = \frac{x}{r}$$

$$\tan \theta = \frac{y}{x}$$

$$\sin(90^\circ - \theta) = \frac{x}{r}$$

$$\cos(90^\circ - \theta) = \frac{y}{r}$$

$$\tan(90^\circ - \theta) = \frac{x}{y}$$

よって、 $90^\circ - \theta$ の三角比は、 θ の三角比を用いて以下のように表すことができる。

$90^\circ - \theta$ の三角比

$$\sin(90^\circ - \theta) = \cos \theta$$

$$\cos(90^\circ - \theta) = \sin \theta$$

$$\tan(90^\circ - \theta) = \frac{1}{\tan \theta}$$

この関係式を用いて、ある三角比を別の角の三角比で表してみよう。 $72^\circ = 90^\circ - 18^\circ$

$$(1) \sin 53^\circ = \cos 37^\circ$$

$$(2) \cos 86^\circ = \sin 4^\circ$$

$$(3) \tan 43^\circ = \frac{1}{\tan 47^\circ}$$

本当に成り立っているのかを三角比の表で確認してみよう。

以下の()に適する鋭角の角度を入れよ。

$$(1) \sin 64^\circ = \cos(\underline{26^\circ})$$

$$(2) \cos 34^\circ = \sin(\underline{56^\circ})$$

$$(3) \tan 29^\circ = \frac{1}{\tan(\underline{61^\circ})}$$

以下の三角比を 45° 以下の三角比で表せ。

$$(1) \sin 59^\circ$$

$$= \cos 31^\circ$$

$$(2) \cos 78^\circ$$

$$= \sin 12^\circ$$

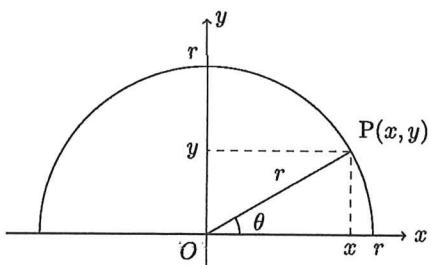
$$(3) \tan 81^\circ$$

$$= \frac{1}{\tan 9^\circ}$$

3 三角比の拡張

3.1 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ への拡張

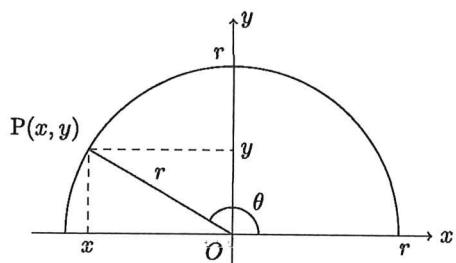
鋭角でしか考えることができなかつた三角比を、鋭角以外でも考えることのできるように拡張しよう。



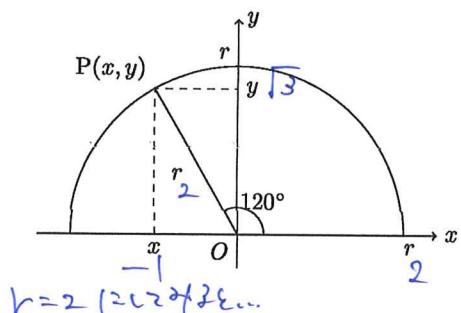
半径 r 上の円上の点を $P(x, y)$ とする。 x 軸の正の向きと OP のなす角を θ とし、三角比を以下のように定義。

$$\sin \theta = \frac{y}{r}, \cos \theta = \frac{x}{r}, \tan \theta = \frac{y}{x}$$

座標で定義することで、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ での三角比を定義できる。



この定義を用いて、 120° の三角比を求めてみよう。



$$(1) \sin 120^\circ$$

$$= \frac{y}{r} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

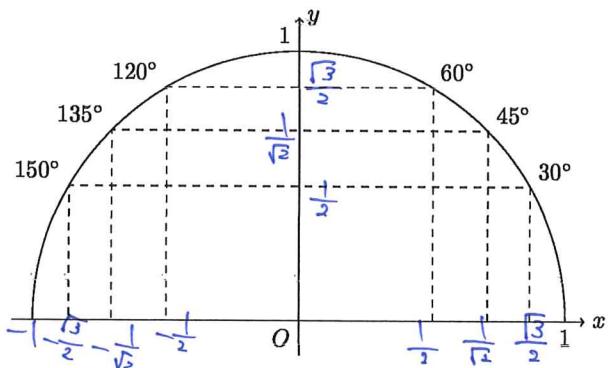
$$(2) \cos 120^\circ$$

$$= \frac{x}{r} = \frac{-1}{2} = -\frac{1}{2}$$

$$(3) \tan 120^\circ$$

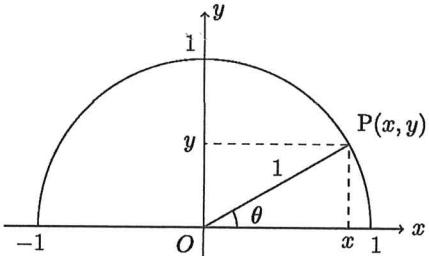
$$= \frac{y}{x} = \frac{\sqrt{3}}{-1} = -\sqrt{3}$$

三角比の値は、三角形の大きさ（円の半径の大きさ）に依らず決まるので、 $r = 1$ として考えることが多い。（これを単位円という）単位円を用いて、下の表を埋めてみよう。



θ	0°	30°	45°	60°	90°	120°	135°	150°	180°
$\sin \theta$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0
$\cos \theta$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1
$\tan \theta$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$	0

三角比についてまとめてみる。



単位円で考えると、点 P の座標 (x, y) は

$$x = \cos \theta, y = \sin \theta$$

また、点 P は半円上にあることから、

$$0 \leq y \leq 1, -1 \leq x \leq 1$$

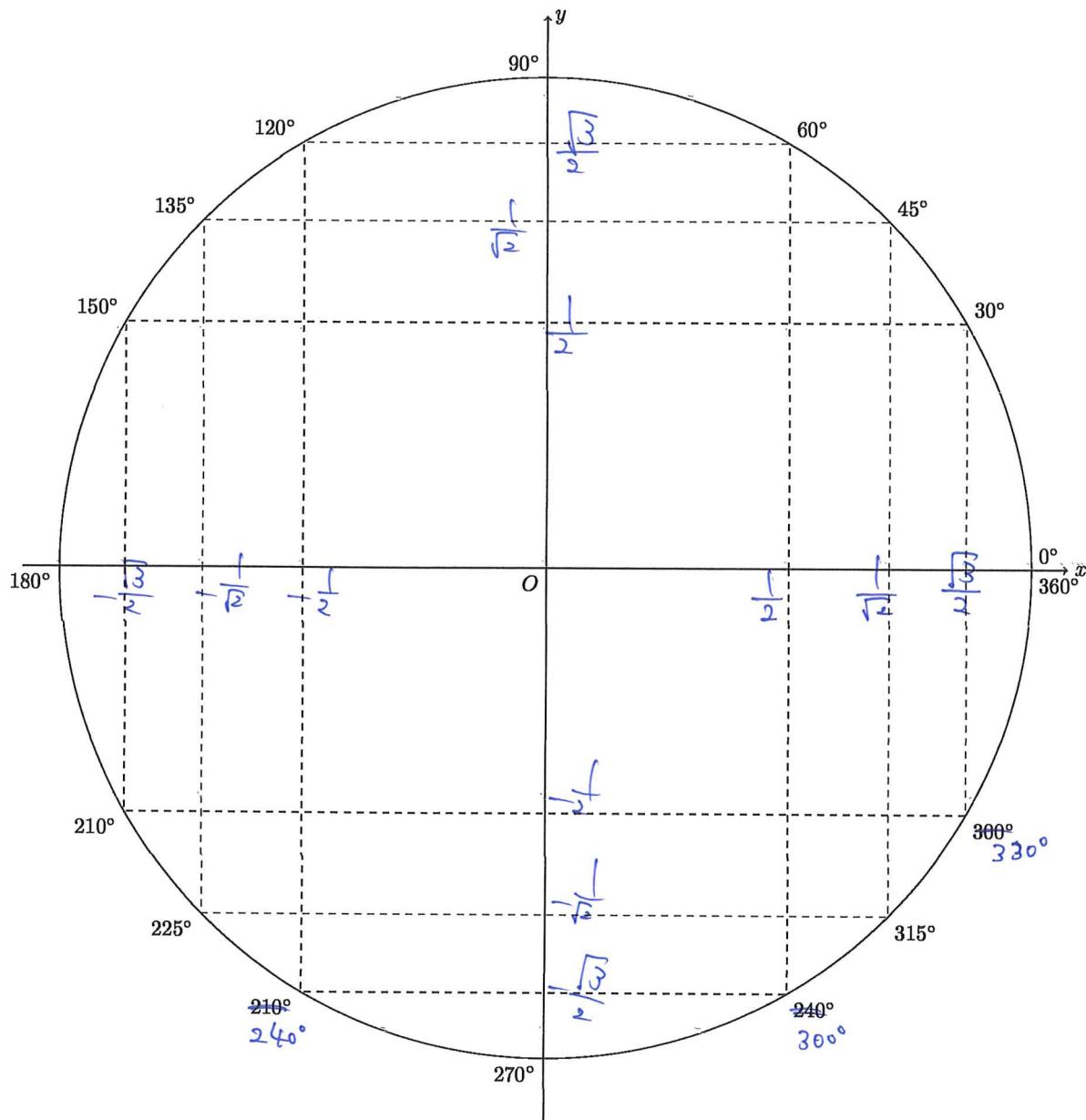
なので、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において、

$$0 \leq \sin \theta \leq 1, -1 \leq \cos \theta \leq 1$$

$$\tan \theta = \frac{y}{x} \text{ なので, } \tan \theta \text{ は直線 } OP \text{ の傾き}$$

3.2 更なる拡張 (+ α)

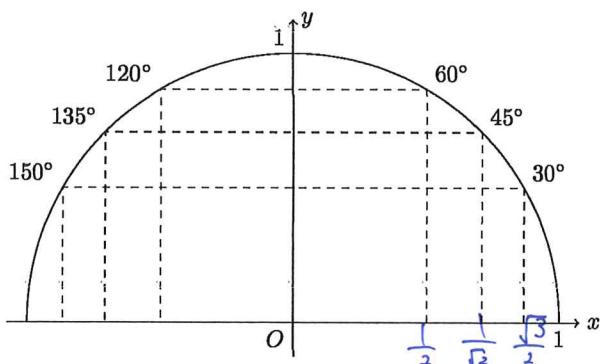
同様にして 360° まで拡張することもできる。単位円で考えてみよう。



θ	0°	30°	45°	60°	90°	120°	135°	150°	180°	210°	225°	240°	270°	300°	315°	330°
$\sin \theta$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{1}{2}$
$\cos \theta$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{1}{2}$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$
$\tan \theta$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$

3.3 $180^\circ - \theta$ の三角比

復習



θ	0°	30°	45°	60°	90°	120°	135°	150°	180°
$\sin \theta$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0
$\cos \theta$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1
$\tan \theta$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	/	$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$	0

90°を境に、異符号。

上の表から天下り的に性質を見つけよう。

$180^\circ - \theta$ の三角比

$$\sin(180^\circ - \theta) = \sin \theta$$

$$\cos(180^\circ - \theta) = -\cos \theta$$

$$\tan(180^\circ - \theta) = -\tan \theta$$

以下の三角比を鋭角の三角比で表せ。

$$(1) \sin 124^\circ = \sin 56^\circ$$

$$(2) \cos 134^\circ = -\cos 46^\circ$$

$$(3) \tan 157^\circ = -\tan 23^\circ$$

以下の値を、三角比の表を用いて求めよ

$$(1) \sin 159^\circ = \sin 21^\circ$$

$$= \underline{0,3524}$$

$$(2) \cos 178^\circ = -\cos 2^\circ$$

$$= \underline{-0,9994}$$

$$(3) \tan 151^\circ = -\tan 29^\circ$$

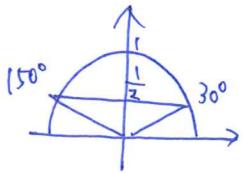
$$= \underline{-0,5543}$$

単位円と直角| | | --- | | 11 |

3.4 三角比の等式

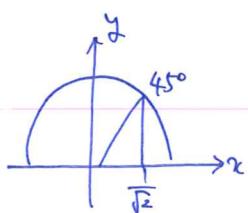
$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、次の等式を満たす θ の値を求めよ。

$$(1) \sin \theta = \frac{1}{2}$$



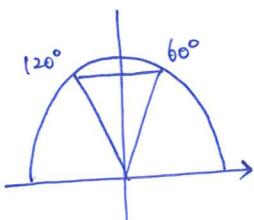
左図から
 $\theta = 30^\circ, 150^\circ$

$$(2) \cos \theta = \frac{1}{\sqrt{2}}$$



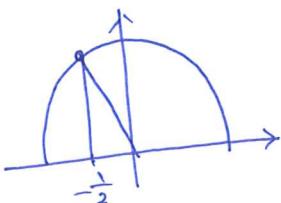
左図から
 45°

$$(3) \sin \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$$



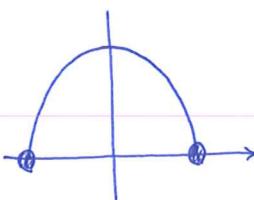
左図から
 $\theta = 60^\circ, 120^\circ$

$$(4) \cos \theta = -\frac{1}{2}$$



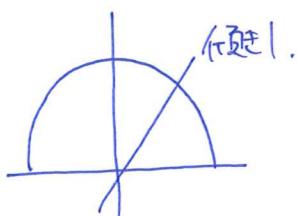
左図から
 $\theta = 120^\circ$

$$(5) \sin \theta = 0$$



$\frac{1}{\sqrt{2}} > 0$.
∴ 左図から
 $\theta = 0^\circ, 180^\circ$

$$(6) \tan \theta = 1$$



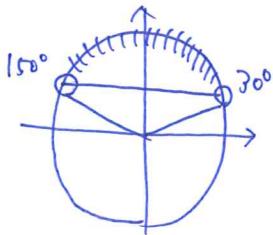
左図から
 $\theta = 45^\circ$

単位円で!!

3.5 三角比の不等式

$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ のとき、次の等式を満たす θ の値の範囲を求めよ。

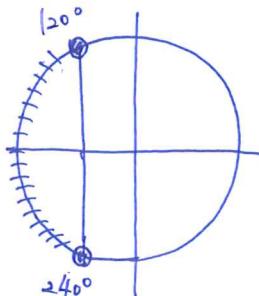
$$(1) \sin \theta > \frac{1}{2}$$



左図より

$$30^\circ < \theta < 150^\circ$$

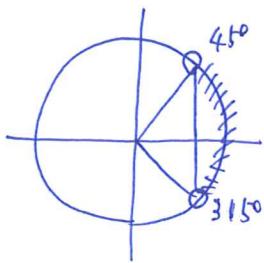
$$(4) \cos \theta \leq -\frac{1}{2}$$



左図より

$$120^\circ \leq \theta \leq 240^\circ$$

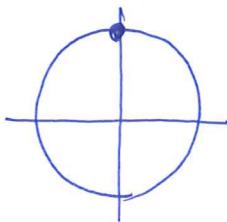
$$(2) \cos \theta > \frac{1}{\sqrt{2}}$$



左図より

$$0^\circ \leq \theta < 45^\circ, \\ 315^\circ < \theta < 360^\circ$$

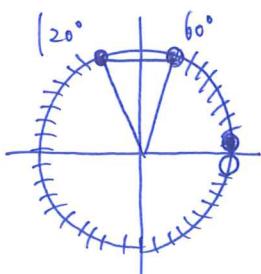
$$(5) \sin \theta \geq 1$$



左図より

$$\theta = 90^\circ$$

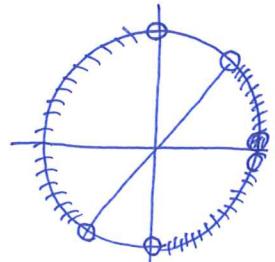
$$(3) \sin \theta \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$$



左図より

$$0^\circ \leq \theta \leq 60^\circ, \\ 120^\circ \leq \theta < 360^\circ$$

$$(6) \tan \theta < 1$$



左図より

$$0^\circ \leq \theta < 45^\circ,$$

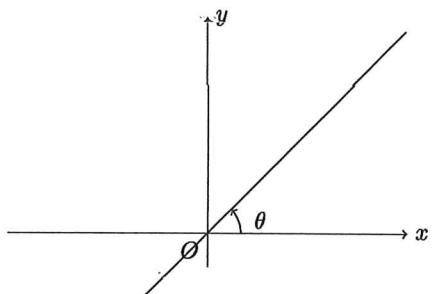
$$90^\circ < \theta < 240^\circ,$$

$$270^\circ < \theta < 360^\circ$$

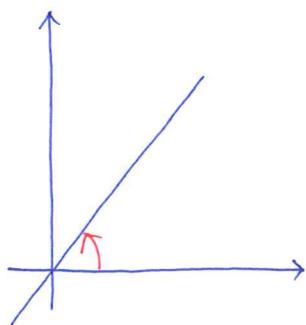
3.6 直線の傾きと $\tan \theta$

$$\star 0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ \text{ のとき.}$$

下の図のように、 x 軸の正の部分から、反時計回りに直線まで測った角度を直線と x 軸の正の向きとのなす角という。

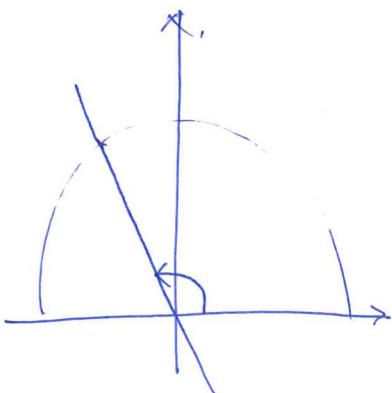


(1) 直線 $y = x$ と x 軸の正の向きとのなす角を求めよ。



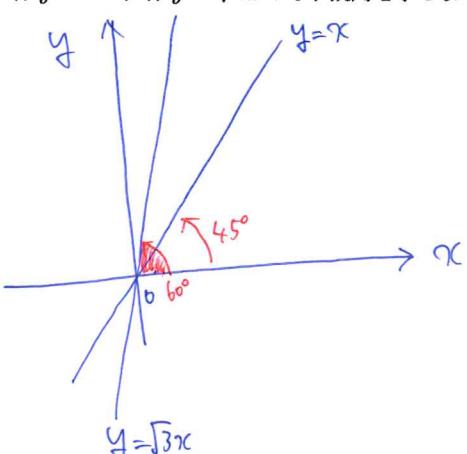
$$\underline{45^\circ}$$

(2) 直線 $y = -\sqrt{3}x$ と x 軸の正の向きとのなす角を求めよ。



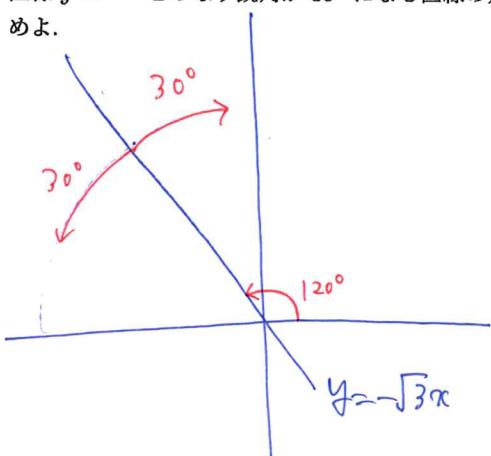
$$\underline{120^\circ}$$

(3) 直線 $y = x$ と直線 $y = \sqrt{3}x$ のなす鋭角を求めよ。



$$\text{上図から, } 60^\circ - 45^\circ = \underline{15^\circ}$$

(4) 直線 $y = -\sqrt{3}x$ とのなす鋭角が 30° になる直線の方程式を求めよ。



上図から,

$$x=0, \quad y = -\frac{1}{\sqrt{3}}x \quad \underline{\underline{}}$$

3.7 相互関係

復習

相互関係

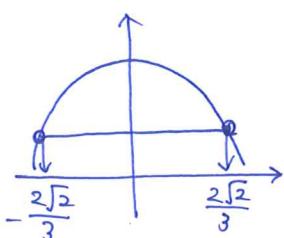
$$(1) \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$$

$$(2) \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1.$$

$$(3) 1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ とする。 $\sin \theta, \cos \theta, \tan \theta$ のうち、1つが次の値をとるとき、他の2つの値を求めよ。

$$(1) \sin \theta = \frac{1}{3}$$



$$\begin{aligned} \sin^2 \theta + \cos^2 \theta &= 1 \quad | \cdot \\ \cos^2 \theta &= \frac{8}{9} \\ \cos \theta &= \pm \frac{2\sqrt{2}}{3} \end{aligned}$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad | \cdot$$

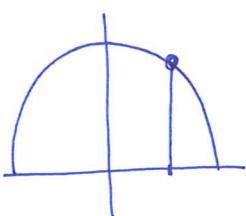
$$\text{(i) } \cos \theta = \frac{2\sqrt{2}}{3} \quad \text{arc}\theta$$

$$\tan \theta = \frac{1}{2\sqrt{2}}$$

$$\text{(ii) } \cos \theta = -\frac{2\sqrt{2}}{3} \quad \text{arc}\theta$$

$$\tan \theta = -\frac{1}{2\sqrt{2}}$$

$$(2) \cos \theta = \frac{3}{5}$$



$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \quad | \cdot$$

$$\sin^2 \theta = \frac{16}{25}$$

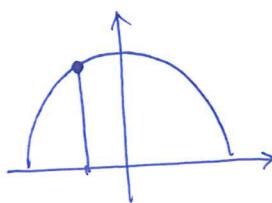
$$\text{左図} \quad \cos \theta > 0 \quad | \cdot$$

$$\sin \theta = \frac{4}{5} \quad | \cdot$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad | \cdot$$

$$\tan \theta = \frac{4}{3} \quad | \cdot$$

$$(3) \cos \theta = -\frac{1}{3}$$



$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \quad | \cdot$$

$$\sin^2 \theta = \frac{8}{9}$$

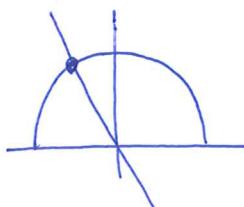
$$\text{左図} \quad \cos \theta > 0$$

$$\therefore \cos \theta = \frac{2\sqrt{2}}{3} \quad | \cdot$$

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad | \cdot$$

$$\tan \theta = -2\sqrt{2} \quad | \cdot$$

$$(4) \tan \theta = -2$$



$$1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta} \quad | \cdot$$

$$1 + 4 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$$

$$\cos^2 \theta = \frac{1}{5}$$

$$\text{左図} \quad \cos \theta < 0$$

$$\therefore \cos \theta = -\frac{1}{\sqrt{5}} \quad | \cdot$$

$$\text{左図, } \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$$

$$\begin{aligned} \sin \theta &= \tan \theta \cdot \cos \theta \\ &= -2 \cdot -\frac{1}{\sqrt{5}} \end{aligned}$$

$$\therefore \sin \theta = \frac{2}{\sqrt{5}} \quad | \cdot$$

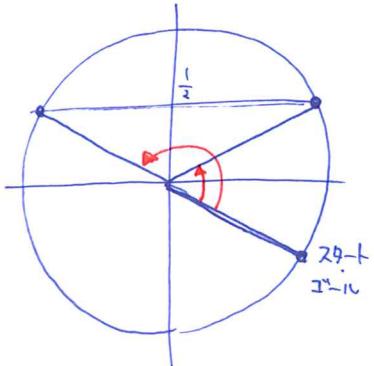
1回み

30°進むより左に地点から(回り)

3.8 始点のズレた三角比の方程式

$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ のとき, 以下の方程式, 不等式を解け.

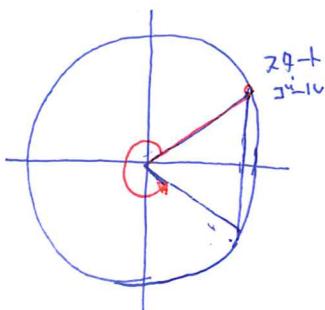
$$(1) \sin(\theta - 30^\circ) = \frac{1}{2}$$



左図から

$$\theta = 60^\circ, 180^\circ$$

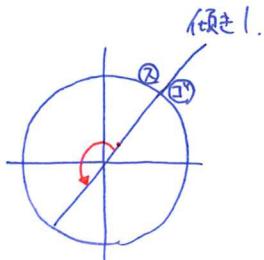
$$(2) \cos(\theta + 30^\circ) = \frac{\sqrt{3}}{2}$$



左図から

$$\theta = 0^\circ, 360^\circ$$

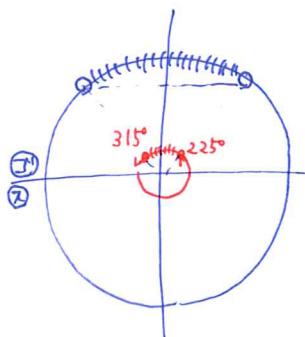
$$(3) \tan(\theta + 45^\circ) = 1$$



左図から

$$\theta = 0^\circ, 180^\circ$$

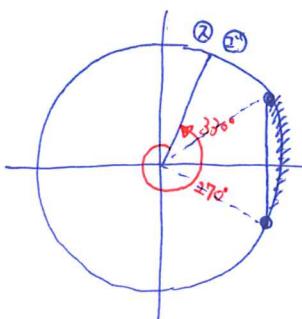
$$(4) \sin(\theta - 180^\circ) > \frac{1}{\sqrt{2}}$$



左図から

$$225^\circ < \theta < 315^\circ$$

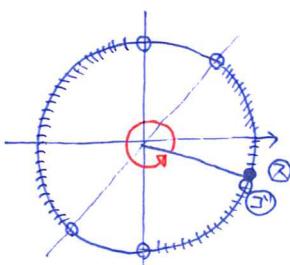
$$(5) \cos(\theta + 60^\circ) \geq \frac{\sqrt{3}}{2}$$



左図から

$$270^\circ \leq \theta \leq 330^\circ$$

$$(6) \tan(\theta - 30^\circ) < 1$$



左図から

$$0^\circ \leq \theta < 75^\circ, \\ 120^\circ < \theta < 255^\circ, \\ 300^\circ < \theta < 360^\circ$$

4 角の拡張

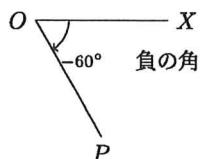
4.1 拡張

角を負の世界へ拡張しよう。

平面上で、点 O を中心として半直線 OP を回転させる。

このとき、半直線 OP のことを動径

動径の最初の位置である半直線 OX のことを始線

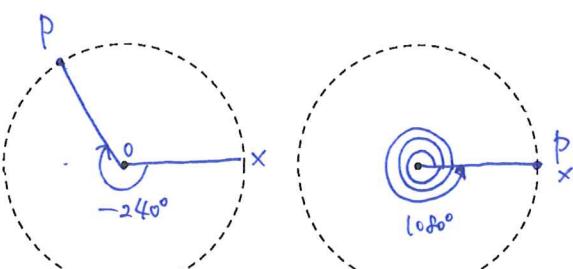
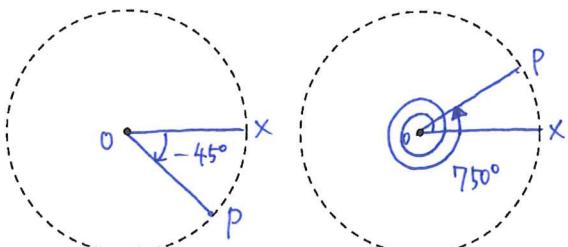
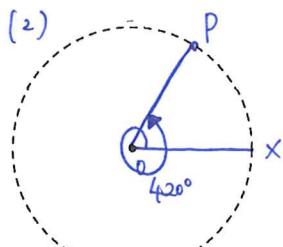
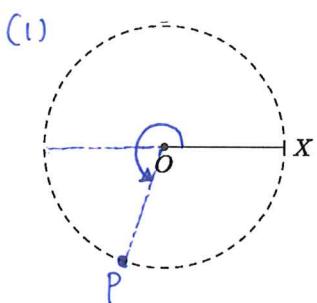


上図のように、反時計回りに測った回転の角を「正の角」
時計回りに測った回転の角を「負の角」という。

問題

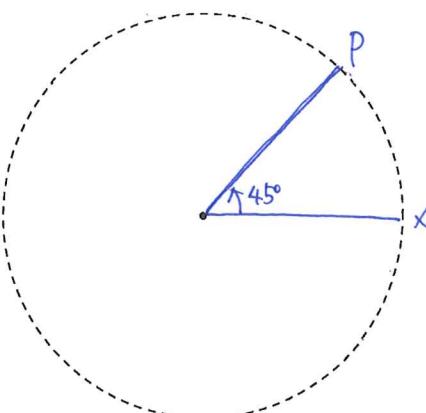
次の動径を図示せよ。

- (1) 260°
- (2) $420^\circ = 360^\circ + 60^\circ$
- (3) -45°
- (4) $750^\circ = 360^\circ + 360^\circ + 30^\circ$
- (5) -240°
- (6) $1080^\circ = 360^\circ + 360^\circ + 360^\circ$



問題

- (1) 45° の動径と同じ位置にある角度を正、負それぞれ 2 つずつあげよ。



$$45^\circ + 360^\circ = 405^\circ$$

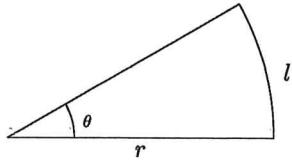
$$45^\circ + 360^\circ + 360^\circ = 765^\circ$$

$$45^\circ - 360^\circ = -315^\circ$$

$$45^\circ - 360^\circ - 360^\circ = -675^\circ$$

角度 θ に対し動径の位置は、 360° °回転するごとに一致する。

4.2 弧度法



定義(弧度法)

半径 r , 弧長 l に対し,

$$\theta = \frac{l}{r} \text{ (rad)}$$

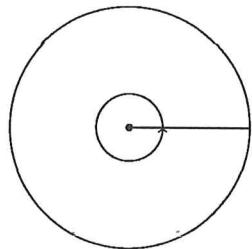
と定義する。

単位(rad)はラジアンと読む。省略することが多い。

ラジアンに円の大きさには関係ないので、半径1で考えると便利である。

例

360° を弧度法で表す。



半径1の円の弧長(円周)は

2π なので、

$$360^\circ = 2\pi$$

問題

度数法で表された角度を弧度法で表せ。

(1) 30°

$$\times \frac{1}{12} \curvearrowleft 360^\circ = 2\pi \\ 30^\circ = \frac{1}{6}\pi$$

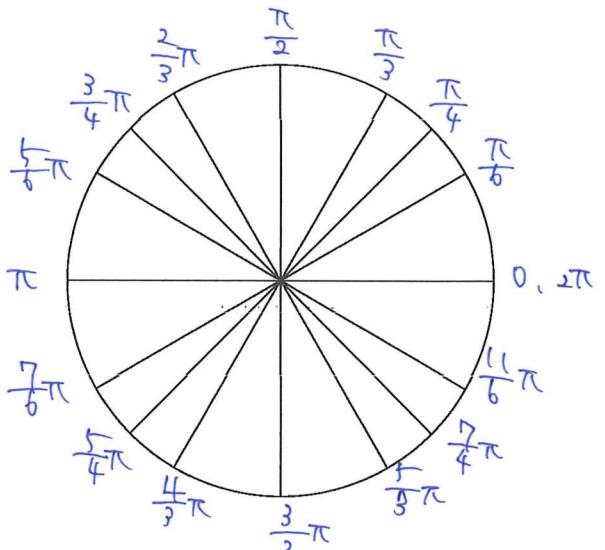
(2) 120°

$$\times \frac{1}{3} \curvearrowleft 360^\circ = 2\pi \\ 120^\circ = \frac{2}{3}\pi$$

(3) 270°

$$\times \frac{3}{4} \curvearrowleft 360^\circ = 2\pi \\ 270^\circ = \frac{3}{2}\pi$$

下の図に弧度法で角度を書き入れよう。

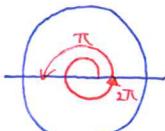


問題

次の角度を $0 \leq \theta < 2\pi$ の弧度法で表せ。

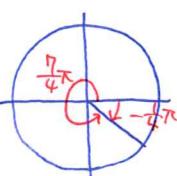
(1) 3π

$$= 2\pi + \pi$$



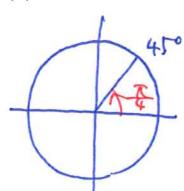
$$\frac{\pi}{4}$$

$$(2) -\frac{1}{4}\pi = \frac{7}{4}\pi - 2\pi$$



$$\frac{7}{4}\pi$$

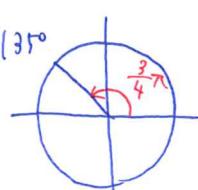
(3) 45°



$$\frac{\pi}{4}$$

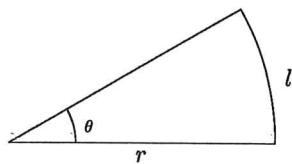
(4) 495°

$$= 360^\circ + 135^\circ$$



$$\frac{3}{4}\pi$$

4.3 扇形



弧度法の定義より、

$$\theta = \frac{l}{r} \text{ (rad)}$$

なので、

$$\text{弧長 } l = r\theta$$

次に、円の面積 πr^2 に対して、扇形の面積を考える。

円 1 周 2π に対し、扇形は角度 θ 分があるので、

扇形の面積 S は

$$\begin{aligned} S &= \pi r^2 \times \frac{\theta}{2\pi} \\ &= \frac{1}{2} r^2 \theta \end{aligned}$$

問題

以下の扇形の弧長 l と面積 S を求めよ。

- (1) 半径 4, 中心角 $\frac{1}{2}\pi$

$$l = r\theta = 4 \cdot \frac{1}{2}\pi = \underline{\underline{2\pi}}$$

$$S = \frac{1}{2} r^2 \theta = \frac{1}{2} \cdot 4^2 \cdot \frac{1}{2}\pi = \underline{\underline{4\pi}}$$

- (2) 半径 2, 中心角 $\frac{7}{6}\pi$

$$l = r\theta = 2 \cdot \frac{7}{6}\pi = \underline{\underline{\frac{7}{3}\pi}}$$

$$S = \frac{1}{2} r^2 \theta = \frac{1}{2} \cdot 2^2 \cdot \frac{7}{6}\pi = \underline{\underline{\frac{7}{3}\pi}}$$

- (3) 半径 3, 中心角 $\frac{5}{3}\pi$

$$l = r\theta = 3 \cdot \frac{5}{3}\pi = \underline{\underline{5\pi}}$$

$$S = \frac{1}{2} r^2 \theta = \frac{1}{2} \cdot 3^2 \cdot \frac{5}{3}\pi = \underline{\underline{\frac{15}{2}\pi}}$$